



## 「学びは伝播する」

森田英夫

「先生、見て見て、めっちゃ光ってるやろ」、図工の学習場面で子どもが口にした言葉です。それはそれは嬉しそうに話しかけてくるので、こちらもつられて嬉しくなりました。

多くの金属は、空気中の湿気で表面が酸化し、もともとの光沢が失われます。金属を形作っても、研磨作業がなければ、光り輝くことはありません。その作業は、表面の大きな傷を棒ヤスリで磨くこと、次に金属研磨用の耐水ペーパーで磨くこと、さらに細かい耐水ペーパーで磨くこと、そして最後にコンパウンド(リキッド状の粒子が入った研磨材)で磨くというように段階を踏まなければ、鏡面仕上げには辿り着きません。傷のある荒い状態では、いくらコンパウンドを使っても、傷に研磨剤が入り込み、むしろ黒ずんでいきます。正しい手順を踏み、少しずつ歩みを進めなければ、決して周囲が写り込む段階には、到達しないのです。子どもは、その行程をなかなか理解できません。

それはなぜでしょうか。恐らくは、素材を加工するという工程を目にすることが少ないからでしょう。今の時代は、機械研磨によって加工された、はじめから光っているものが簡単に手に入ります。そして、その加工は、海外で成されることも多くなっています。昔ながらの職人が目の前で仕上げていく工程を目にしてないことが原因だと思えます。

このことは、様々なことに当てはまると思えます。速く走ったり、遠くに跳んだりできることに価値があると思っただけでも、そこに至るまでの行程を目にしなければ、自分にもできる、できそうだと考えられません。鍵盤を軽やかに叩き美しい旋律を奏でることも、見事な達筆で墨痕淋漓と書く書も、複雑で難解な問題を解くことも、ゴールに到達するまでの段階を踏んだ具体的な行程のイメージが描けなければ、続けようとする動機を維持できません。しかし、不思議なもので、同じ場面で活動している一人がその行程を経て、結果を出せると、それを見ていた子どもの中から、次々にできるようになっていく子どもが現れます。それはどんどん広がって行きます。できるようになるまでの行程がイメージできた時、人は動機を持ち続けることができるようになるのだと思えます。私たち教師の仕事は、このように同じ場面で学ぶ場をつくり、子ども達が価値あると思えるところに至る行程を見えるように紹介していくことだと思っています。

前期ももう少しで終わりとなりますが、ステージの取り組みが始まっています。11月の終わりに向けて、本年度は各クラスでの取り組みが進んでいきます。脚本や台詞、小道具や衣装、振り付けなど、たくさんの要素が混じったステージの表現では、子ども達が一緒に考え、取り組む場面が多く生まれます。私たち教師もその場に寄り添って、具体的な行程のイメージを見えるように努めていきます。ご家庭でも、どんな風に取り組むことが、完成に繋がっているのかが目に浮かぶように、それぞれのご家庭の、またご家族の得意ジャンルから支えていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

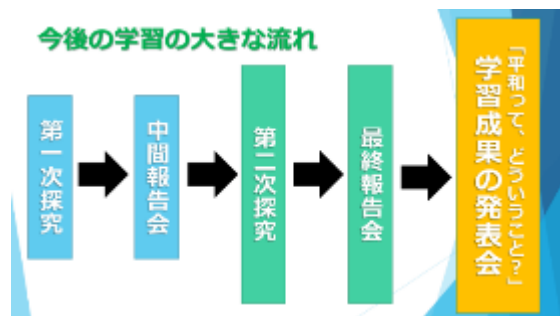
# 単元「平和の声をきく」

みなさんは「平和」という言葉を聞いてどのようなイメージを持たれますか？「平和的解決」,「平和主義」,「平和な世の中」など,日常生活で「平和」という言葉をよく耳にしますが,そのイメージするところは一人ひとり少しずつ違っているのではないのでしょうか。ちなみに私が「平和」と聞いて思い浮かぶ映像は「春の暖かな日差しの中で子どもの笑い声が響く教室」です。やはり皆さんのイメージとは少し違うでしょう。

絵本作家ウォーレス＝エドワーズが描いた「平和って,どんなこと?」という絵本があります。「平和」について様々な角度から思いをはせることを読者に求める絵本です。その中に「私たちは平和が目の前にあるときそれを平和だと気づきますか?」という一節があります。「子ども達にも日々当たり前のように過ぎ去っていく目の前の平和に気付けるような人になってほしい」と感じたのがこの単元構想の出発点でした。

5年生は総合的な学習の時間で「平和の声をきく」という単元に取り組んでいます。「平和って,どんなこと?」をキーワードに,平和に対する概念を拡張させたり変容させたりすることを目標に学習を進めています。「平和」についてイメージすることを付箋に書き出し,それらを話し合いながら分類していく中で,「戦争」「環境」「生活」という「平和」を考えていくうえでの観点を導き出しました。

現在はその観点ごとのチームに分かれて,中間報告会に向けた第一次探究活動を進めています。学習の流れについては右図の通りです。中間報告会で,各チームの成果を報告し,質疑応答をする中で第二次探究に向けた「種」を探していきます。ここまでの活動の様子を,各チームごとにご紹介します。



「平和×戦争」チームは話し合いを進める中で,子ども達の知識として一番根付いているのは「太平洋戦争」であり,その前後の戦争を理解したり,未来の争いを予想したりすることが,戦争を深く理解することにつながると共有しました。そこで過去・現在・未来の3つのチームに分かれ,調べ学習を進めることにしました。歴史上の争い,過去の戦争や紛争,現在の紛争,未来に起こる可能性のある紛争や戦争などの様々な争いごとの「きっかけ」を中心に調べ,それを俯瞰し,統合的に考えることで,共通点を見出し,戦争に学ぶことで日々の生活の争いに対応する方法を考えることを第一次探究の目標としました。

調べ学習では,学校のメディアスペースの書籍やインターネットだけでなく,あかし市民図書館にも書籍を求めて出かけることで調べる幅を広げました。そして,自分たちが調べたことを発表し,その内容を踏まえて,「平和×戦争～平和な世界に向けて～」というテーマでチーム内会議を開きました。会議では,「歴史上では『裏切り』がきっかけとなり戦いが起こる場合があったので,身近な生活で友達を裏切らずに大切にする必要があると思う」や「自分たちのことだけを考え,土地の奪い合いがきっかけとなり戦争が起こってしまう場合があったので,普段から相手の立場を考えて行動することが大切だと思う。」など調べたことを基に,日々の生活につなげる必要性を学ぶことができました。



「平和×環境」チームは,話し合いの結果「海洋汚染」に対する関心がみんなの中で高いことが明らかとなりました。そこで子ども達にとってなじみの深い神戸の須磨海浜浴場と,明石市におけるウミガメ産

卵の最後の確認地である望海浜とに出向き、現地でのフィールドワークを行うことで海洋汚染の現状を把握することを第一次探究の目標としました。

子ども達は現地につくとすぐにごみ拾いを開始しました。はじめはごみを拾うことばかりに夢中で、ごみ袋の中にどれだけのごみを集められるかに関心が向いていましたが、次第に「このごみはどこからやってきたんだろう?」「生活ごみがとても多い!」「形が整った木材が漂着してるけど建物が壊れて流れてきたのかな?」など、ごみそのものに関心が向いていきました。そんな子ども達の学びをサポートしてくださったのが、環境保全団体「海と空の約束プロジェクト」代表の西谷寛さんです。365日毎日望海浜のごみ拾いを続ける西谷さんは、子ども達のどんな質問にも丁寧に受け止め答えてくださいます。環境を考えることは、頭の中だけではできません。実行に移す大切さも環境チームの子ども達は西谷さんとのやり取りを通して学んでいるところです。



「平和×生活」チームでは「食品ロス」について探究しています。理由は、「世界にはご飯が食べられなくて困っている人がいるにも関わらず、日本ではたくさんの食品が捨てられていることは平和ではないんじゃないのか」、「牛や豚など命をいただいているのに捨ててしまうのはよくないのではないか」という子ども達の思いがあったからです。話し合いの中で、インターネットや本で調べるだけでなく、いつも給食を作ってくださいる調理員さんや、食品をたくさん扱うスーパーの人、ご飯を作ってくれる保護者の人を調査することで、より食品ロスについて探求していけるのではないかということになりました。



調理員さんへの調査では、「毎日どのくらいのご飯が残るのですか?」「どんな対策をしているのですか?」など様々な質問を時間いっぱいインタビューする姿が見られました。それぞれのおかずが何キロ捨てられているのか、お茶碗でいうと何杯分なのかなど、子ども達はその量の多さを実感できるようにお答えいただき、「えー!そんなに!」と驚きを隠せないようでした。実感を伴って食品ロスの現状を学ぶ子どもの姿がありました。スーパーの人へのインタビューは、コロナの状況で直接お話を伺うことはできませんでしたが、子ども達の質問をまとめ、その質問をメールで送りお答えいただくことができました。また、保護者の方への調査は、質問項目をみんなで考え、アンケート用紙にまとめて調査を行いました。中間報告に向け、様々な視点から見た食品ロスの現状と取り組みについて調査を進めることができました。

「平和」は私達の生活の至る所にひっそりと息づいています。当たり前のように私たちの生活に溶け込んでいてなかなか気付きにくいものです。それゆえ時に私たちは「平和」を享受することが当たり前だと思いきや、ないがしろにしてしまったりすることさえあります。単元での残りの活動を通して、そんな「平和」の尊さに子ども達と自覚的になってみたいと考えています。

日	曜	11月の行事予定	12月の主な行事予定
1	日		2日(水) 5年生参観日
2	月		3日(木) 6年生参観日
3	火	文化の日	5日(土) 5年生登校日
4	水		7日(月) 諸費振替日
5	木	3年生学習参観日	7日(月) ~11日(金) 登下校指導
6	金	4年生学習参観日 諸費振替日	9日(水) 2年生参観日
7	土		11日(金) 学級・学年懇談会
8	日		
9	月		
10	火		16日(月) 諸費振替日
11	水		24日(木) 給食終了
12	木		25日(金) 冬休み前の会 弁当日
13	金	前期終業式	
14	土		
15	日		
16	月	後期始業式 諸費振替日 個人懇談・6年進路相談日(三者)	
17	火	発育測定(5年)	
18	水	発育測定(1年)	
19	木	発育測定(3年) 学校評議員会	
20	金	発育測定 4年	
21	土		
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	発育測定(2年)	
25	水	登下校指導	
26	木		
27	金		
28	土	ステージ(弁当日)	
29	日		
30	月	代休日	